



箕面市立病院だより

2018.6 Vol.32

<https://www.minoh-hp.jp>

編集発行：箕面市立病院 事務局病院経営室 ☎072-728-2001 (内線2718)

<特集> 「市立病院の移転建替えが決定しました」 「内科のご紹介」

市立病院の移転建替えが決定しました

当院は、昭和56年に開院してから37年が経過し、施設や設備の老朽化並びに最新医療に対応できないなどの施設構造となっており、大阪府内の急性期医療を担う公立病院において、建替えが決まっていない病院の中では最古の病院となっています。そこで、病院施設の現状分析と課題抽出を行った結果、「老朽化が深刻であり、早期に抜本的対策が必要なこと」と「最新医療の提供」に課題があることがわかりました。

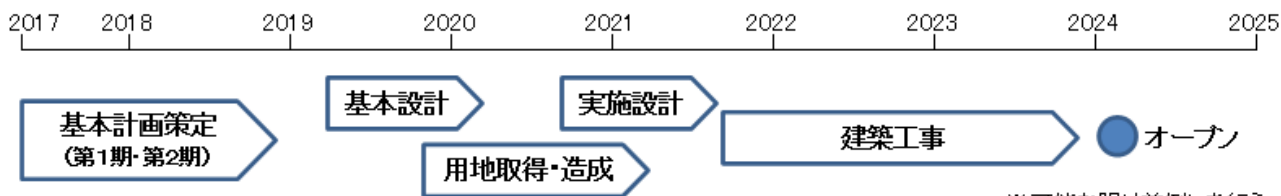


<市立病院移転先>

これらの課題の解決策として、「施設の大規模改修」、「現地での建替え」か「移転して建替え」かを検討し、

- ①維持費用も含めた総費用面で大規模改修より建替えが有利であること
- ②現在、整備工事が進められている北大阪急行線の(仮)箕面船場阪大前駅に近く、患者さまの利便性が向上すること
- ③アクセスが高まることにより、増収が期待できること
- ④工事中、患者さまへの影響が少ないことなどから、昨年12月の市議会で船場地区のCOM1号館跡地等への移転建替えが決定しました。

現在は、新病院の規模(病床数や診療科目)と機能(病床・医療機能)を検討する基本計画に着手し、今後、延床面積等の施設規模や建物配置案と整備手法、資金計画などを決定していく予定です。その後は、基本設計・実施設計・工事と順次、進めていき、遅くとも2024年度前半のオープンをめざしてまいります。



※可能な限り前倒しを行う

今後の進捗状況については、市立病院や箕面市のホームページ、病院だよりなどでお知らせしていきます。

内科のご紹介

～病状に応じて専門の診療科が分かれています～

循環器内科

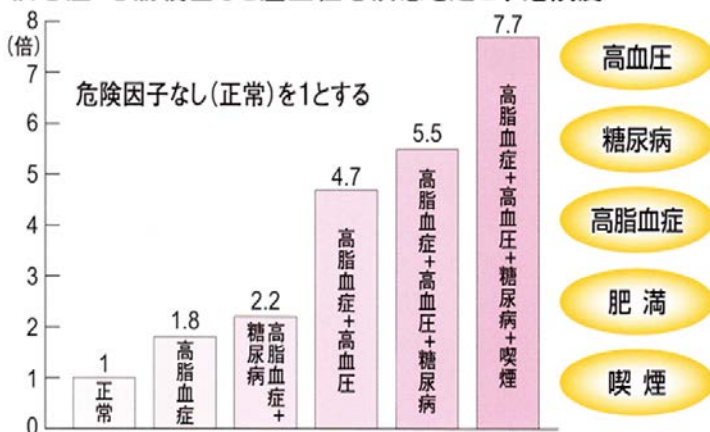
～ 循環器内科の目標は心不全と心臓死を減らすこと ～

狭心症・心筋梗塞などの虚血性心疾患、心房細動が多くを占める不整脈は年齢とともに増加しますが、高血圧症・糖尿病・高脂血症などの生活習慣病が循環器疾患の発症に大きく関わっています。

そこで、一番大切なのは生活習慣病をしっかり管理して循環器疾患を予防することです。

高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満、喫煙などの危険因子の増加に伴い、虚血性心疾患の危険度も増加します

狭心症・心筋梗塞など虚血性心疾患を起こす危険度

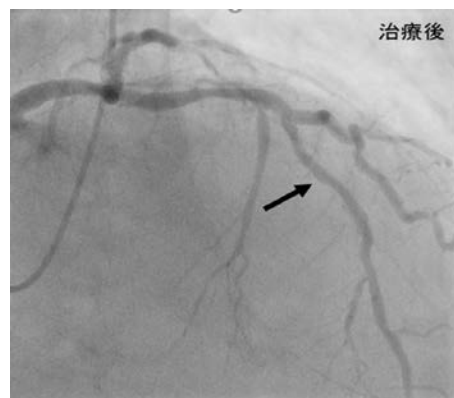
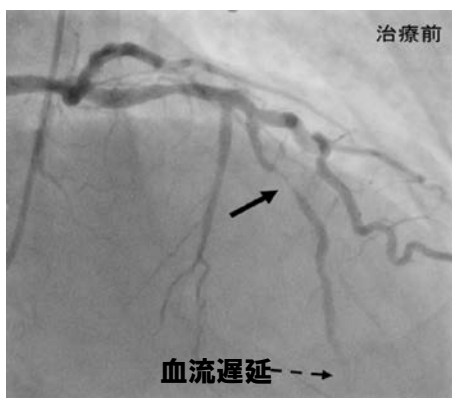


～ 無症状であっても心臓の血管(冠動脈)は詰まりかけのこともある ～

当院では平成29年9月から冠動脈のカテーテル治療を再開していますが、治療を受けていただいている患者さまの10人中3人は無症状であり、中には冠動脈は「詰まる一歩手前(亜閉塞)」のかたもおられます(無症候性心筋虚血といいます)。

特に高齢、糖尿病治療中の患者さまは無症状であることが少なくありません。

症状がなくても10年以上の高血圧、糖尿病、高脂血症の治療歴のあるかたや未治療で経過されているかたは一度心臓の検査を受けることをご検討ください。



対象の疾患

虚血性心疾患、高血圧症、不整脈疾患、徐脈性不整脈、心臓弁膜症、心筋症などの循環器疾患、末梢血管疾患、脂質異常症などが対象です。

特に、脂質異常症は高血圧症、糖尿病と同様に虚血性心疾患の原因ですが、若年で無症状であっても将来の動脈硬化性疾患の予防のために早期の治療介入が望ましい患者さまもおられますので、お近くのかかりつけ医さんにご相談のうえ、当院を受診ください。

治療と実績

心臓や各種血管の超音波検査、心電図や24時間の血圧検査などの検査を行い、カテーテル検査、ペースメーカー挿入術などを用いて治療を行っています。

当院がカテーテルによる検査や治療を再開してからの半年(平成29年9月から平成30年4月まで)間で、カテーテルによる検査は17件、経皮的冠動脈形成術などカテーテルの治療は26件でした。

初期治療より専門性の高い治療まで幅広い医療が行えるよう、今後も積極的に取り組んでいきます。

当院では、病状により、きめ細かい対応ができるよう、総合的な診療をする「内科」と5つの専門分野「消化器内科」「循環器内科」「血液内科」「糖尿病・内分泌代謝内科」「神経内科」に分けて診療を行っています。

今回は、「循環器内科」「糖尿病・内分泌代謝内科」にスポットを当て、当院での診療などについてご紹介します。

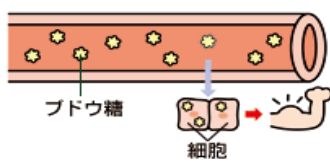
糖尿病・内分泌代謝内科

対象の疾患

糖尿病を中心とする糖代謝疾患、肥満症、高脂血症（脂質代謝異常）、甲状腺・副甲状腺・視床下部下垂体・副腎疾患などが対象です。

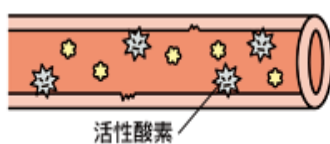
～糖尿病は予防が重要～

〈高血糖により動脈硬化が起こる仕組み〉



●通常の血管

ブドウ糖は、細胞に取り込まれてエネルギーに換わる。



●ブドウ糖が増えてくると…

ブドウ糖が増え過ぎると活性酸素の発生を促し、血管の内膜を傷つける。



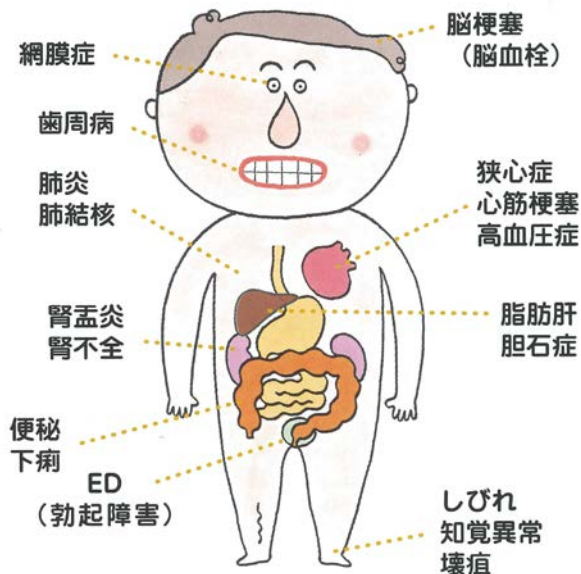
●動脈硬化が起こる

傷ついた血管の内膜にコレステロールなどがたまることで血管が硬く厚くなり、動脈硬化が進む。

出典：self doctor.

糖尿病とその予備軍のかたの割合が、70歳以上では40%に達している時代になり、糖尿病による合併症を引き起こさないためにも日常生活を見直し糖尿病を予防すること、また悪化を予防することがとても重要です。

～糖尿病は万病のもと～



糖尿病そのものの症状は、初期にはほとんどのかたに見られませんが、ひどくなると、たくさん尿が出る、のどが渇く、たくさん飲物を飲むなどの症状が見られます。このような症状を自覚したり、血糖値が高いと指摘を受けたことがある場合には、速やかに医療機関を受診してください。

当院の糖尿病センター

当院では、「糖尿病センター」を設置し、糖尿病の患者さまやそのご家族さまへ指導だけでなく、糖尿病予防の意識を深めていただくため、様々な取り組みを行っています。

医師（糖尿病・内分泌代謝内科、循環器内科、皮膚科、眼科）、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士がチームでサポートを行っています。

＜入院患者さまには＞

「食事・運動・薬物療法」
「生活相談」を行い、普段の生活に早く戻れるよう、そして戻った後も病気と上手につきあっていく方法について患者さまと一緒に考えていきます。

＜外来患者さまには＞

通常的外来診療、療養指導、栄養指導以外の支援として、「糖尿病透析予防指導」や「フットケア外来」を行っています。

＜糖尿病教室＞

患者さまだけでなく、ご家族さまも参加可能な糖尿病教室を年に3回（2.6.10月予定）3日間コースで開催しています。詳しい日時や開催場所については、市立病院にお問い合わせください。

患者さまは身近な地域の「かかりつけ医」から医療を提供されることが望ましいという観点から、地域における第一線の医療を担う「かかりつけ医」に対して、紹介患者さまへの医療の提供や施設の共同利用などの支援を行い、地域医療を充実させる病院を「地域医療支援病院」といいます。当院は、大阪府の地域医療支援病院として、地域の医療機関と連携しています。

今回は、取り組みの一つである「訪問による支援活動（感染制御ラウンド）」についてご紹介します。

感染制御部と地域支援活動

感染症は、ヒトからヒトへとうつっていくことがあります。ノロウイルスやインフルエンザが有名ですが、実は、抗菌薬が効きにくい耐性菌も世界中で問題となっています。これらのウイルスや耐性菌は、当院だけが取り組んでも効果を上げることが難しく、地域の病院や介護保険施設とともに対策をとっていくことが重要です。

当院では、専門の資格を持った看護師・薬剤師、医師、臨床検査技師で構成された「感染症の治療が効果的に行えるように支援するチーム（AST）」と、「院内で感染症が発生しないように活動するチーム（ICT）」で構成された「感染制御部」を設置しています。感染制御部は、早くから地域の支援活動として医療従事者対象の研修会を開催したり、病院・施設へ訪問して改善策を提案したりアドバイスに取り組んできました。



《医療従事者研修会》

感染制御ラウンドの実際



市内の病院や介護保険施設からの要望により看護師と薬剤師が訪問します。施設内の病室（居室）、トイレ、汚物処理室などを施設の職員と巡回・確認し、良い点、改善できる点を報告書にしてお渡しします。

これらの取り組みは2012年から開始しており、2018年4月までに30回以上の訪問を行ってきました。

また、感染制御ラウンドをとおして相談や職員研修会なども活発に行われるようになり、地域の感染症対策の意識が高まっています。

今後も、地域とつながりながら、感染症対策が十分行える体制づくりに貢献してまいります。

お知らせ

7月1日から初診料加算金を 2,160円から**3,240円**に改定します

まずは
お近くの診療所へ

7月1日から、紹介状を持たないかたに初診の際ご負担いただく料金「初診料加算金」を**2,160円から3,240円に改定**します。実際には、7月2日（月曜日）から適用されます。

箕面市では、お近くの診療所と市立病院が一体となって、患者さまが安心して治療を受けていただける体制を整えています。まずは、お近くのかかりつけ医を受診していただき、かかりつけ医の判断で、症状や治療内容を記載した紹介状を作成し、当院に引き継ぎます。

紹介状をお持ちいただくことにより、すみやかに病状を把握でき、薬や検査の重複も避けることができます。市立病院を受診される際は、紹介状をお持ちいただくよう、ご理解とご協力をお願いします。

※整形外科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科は完全紹介・予約制のため、紹介状が必要となります。

※分娩をご希望の際は、紹介状は不要で初診料加算金も掛かりません。「初来・紹介状受付窓口」へお越しください。

